

UVプリント技術を磨くことで 他社が真似できない商品が作れるように。 製造スタッフの意識も変わった



VersaUV LEF2-300

導入事例のご紹介

株式会社 エーワークス 代表取締役 浅野 達生 様

老舗プラスチック成型会社から独立し、高い技術で様々なプラスチック製品を世に出すエーワークス様は、内製化による利益率アップと、自社スタッフの技術習得を目的に、2016年にLEF-300を導入しました。以降、UVプリント技術の研鑽を続け、他社では真似できない商品を開発してきました。2021年には追加の1台として「LEF2-300」をレーザー加工機と合わせて導入。その活用方法とUVプリンター導入の効果を、浅野達生社長にうかがいました。



導入の決め手

- 1 内製化による利益率アップや小ロット対応が必要だった
- 2 UVプリンターを所持することで競争力の獲得と提案力を向上させる
- 3 他社が真似できない技術が身に付く

LEF シリーズの導入で 全商品の約 70%を自社プリント

創業50年以上のプラスチック成型会社から商品開発部門が独立し、2011年に設立したのが当社です。30年以上蓄積した成型技術を武器に、有名作家やキャラクターのライセンスを取得して作った商品や独自開発したオリジナル商品、OEM製造など幅広いプラスチック製品を手掛けています。

プラスチック製品には印刷が必要な場合がほとんどで、約80%のプリントを外注に出していました。やがて内製化による利益率アップやプリント技術習得による競争力の獲得が必要だと感じ、2016年にローランド ディー、ジーの「LEF-300」を導入しました。

導入前は様々なメーカーを検討しましたが、LEFシリーズなら提供する商品に他社との違いが出せると考えました。また、印刷クオリティと生産性の高さ、メーカーへの信頼が厚かったことも導入の決め手になりました。そして2021年には「LEF2-300」を追加導入しました。これまで使ってきたLEFシリーズの品質に満足していたので、機種選びは迷いませんでした。

初めてUVプリンターを導入してから6年間、プリント技術を磨き続けてきました。しかし、UVプリントを内製化した現在でも、外注先が優れた技術を持っていたり、素材や形状など条件によってはプリントを外注することがあります。しかし、社内にUVプリンターがあることで、外注先の現場でどんな問題が起こるのかが



左上) 人気商品「ブロックカレンダー」。右上) ガラス瓶へのUVプリント。下) UVプリンターとレーザーで作った店頭ディスプレイ。



分かります。それを知った上で外注に出せる意義はとて大きく、外注先でトラブルが起きた場合でも、自社で作業工程を組み直して対応にあたります。その感覚を製造スタッフが持てるようになったのも、LEFシリーズを導入した成果のひとつです。今では全商品の約70%を自社でUVプリントしています。

簡単に見えるガラス瓶へのUVプリントは他社が真似できない

UVプリンターを所有している業者は他にも多くあるので、自社技術を磨くことが重要です。LEFシリーズ導入直後に、ガラス瓶にUVプリントできないかと相談がありました。簡単そうに見えましたが、実際にプリントしてみると、表面にコーティングが施されていたためにインクが剥がれてしまいました。そこから試行錯誤を繰り返し、様々なプライマーを研究し、今ではインクが剥がれないガラス瓶へのUVプリントが可能になりました。このように、簡単にできそうで他社が真似できない技術を持つことに価値があると感じています。その技術を認めてくれるお客様は1回だけの注文ではなく、長い付き合いになります。そうしたお客様が徐々に増えてきたことも、当社にとって嬉しいことです。

2021年、「LEF2-300」と同時に導入したのがレーザー加工機です。UVプリンターと



導入機種

**VersaUV
LEF2-300**



の組合せとえば「アクリルキーホルダー」が思いつきますが、当社が取り組んでいる主な使い方は、ディスプレイ制作です。

UVプリンターとレーザー加工機で店頭ディスプレイ+商品を提案

当社ではオリジナル商品のブロックカレンダーや各種キャラクター商品を製造し、それが取引先である全国の雑貨・玩具販売店の売り場に並びます。近年、販売店側から「商品だけでなく、ディスプレイもセットで提案してほしい」とオーダーが入るようになりました。その要望に応えるために店頭ディスプレイを設計しましたが、レーザーカットや曲げ加工を外注するとコストが合わないため、内製化を選びました。今後は「LEF2-300」とレーザー加工機で作る店頭ディスプレイや、そのまま店頭で置くパッケージを含めた商品提案を積極的に行っていきたいと考えています。

設備投資は短期的に見るとリスクですが、それによって外注するより小回りが利くようになり、小ロット対応が可能になります。当社は元からプラスチック製品の成型からプリントまで、小ロット対応が得意なので、その部分もUVプリンターとマッチしました。他社に頼むと中国生産で最低ロットが1,000個から。当社

COMPANY PROFILE

株式会社 エーワークス 様

〒332-0011 埼玉県川口市元郷4丁目2番17号
TEL: 048-446-9561 FAX: 048-446-9563
<https://a-works.info/>

創業50年のプラスチック成型会社「有限会社浅野製作所」よりメーカー及び商品開発部門を独立し、2011年に設立。30年以上蓄積した高度な成型技術、ノウハウがあり、独自に開発した多数のオリジナル商品を持つ。



なら国内生産で100個から受注できます。

技術と経験を活かした他社にはない独自の提案力

数が多くなっても、パーツ別にシルク印刷を外注したり、社内でUVプリントしたりと、これまでの技術と経験を活かし、お客様に最適なプリント法を提案できるのも強みです。他にも、環境にやさしいバイオマスプラスチックにUVプリントした商品を新たに展開して、様々なメーカー様から問い合わせを頂けるようになりました。

LEFシリーズの導入は、内製化による利益率アップや小回りの利く対応などの表面的なメリットだけでなく、作業工程の組み立て方やプリント法の提案など、製造スタッフの商品作りの意識を深い部分から変えてくれたと感じています。

LEF2-300 基本スペック

標準価格	4,378,000円(税込)
寸法	W1,560×D955×H576mm
重量	144kg
設置可能材料	最大W800×D360×H100mm/最大8kg
印刷範囲	最大W770×D330mm
印刷解像度	最大1,440 dpi
使用インク	ECO-UVインク (C,M,Y,K,GL,WH,PR)

印刷時に発生する臭気や揮発性物質を除去する専用脱臭装置は別売り。